

上田 勉

1月26日、私は生誕65周年を1人で迎えました。数日後に介護保険の被保険者証が送られてきました。うれしいやら悲しいやらの気分です。

仮設住宅について考える

「自分は一生のうちで、宝くじに当たることはあっても、まさか仮設住宅に当たるとは思わなかった。」被災者の人はこう言います。3・11の後、被災者は3ヶ月間は学校等の避難所や家族・親戚の家において、その後仮設住宅が建設されて入居しました。仮設住宅では、家電製品（空調機・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・掃除機、ガスレンジ、電子レンジ）は備え付けです。日赤が義援金で、全部の仮設住宅に設置しました。被災者の人が仮設住宅から引っ越す時には、これらの家電製品を持って行くことができます。その後で、市がこれらの家電製品を補充します。

私も階上中学校の仮設住宅の住人です。家賃はタダです。その代わり住居手当は支給されません（当たり前）。私の仮設住宅は16棟で96戸です。中学校の校庭はほとんど全部が仮設住宅です。中学生達は近所の小学校へ行って、クラブ活動を行っています。現在、気仙沼市への応援職員が25人入居していて、被災者の方達と共に生活しています。

仮設住宅には、住宅メーカーが建てたものとプレハブメーカーが建てたものがあります。私の仮設住宅は住宅メーカーが建てたもので、品質は良いです。間取りは、4畳半2間と台所です。4畳半はテーブルや机を置くと寝る面積しかありません。6畳と4畳半とは大きな違いです。家族の間でプライバシーはありません。

私は東南アジアやインド旅行では格安ホテルに泊ります。冷房付きとなっていて、天井で扇風機がガタガタ回っているのがほとんどです。バス・トイレ付と言っても、湯ぶねは無くシャワーがほとんどです。問題はシャワーからお湯が出るかどうかです。私の仮設住宅は、湯ぶねも洗い場もあります。空調機も夏は涼しくて使いません。冬の暖房だけです。仮設住宅は、私にとっては5つ星です。しかし、冬の夜中の底冷えはやっぱり仮設です。

仮設住宅での生活

気仙沼の人達は、夜10時には寝て朝6時には置きます。ちなみに気仙沼市では、朝6時と夕方6時、夜9時に防災無線から放送が流れます。朝6時はなぜかポール・モーリアの恋は水色のメロディです。夕方6時は、「6時になったのでもう帰りましょう」です。しかし、この放送は市役所の中では、なぜか聞こえなくなっています。（ちなみに私が市役所を出るのは、だいたい夜の7:30過ぎです）。

自立して建物を建てた方や家族の所へ行く人は、仮設住宅から転居します。現在仮設住宅に残っている人は、市が建設している防災集団移転の造成を待って、家を建てようとしている人と、災害公営住宅（市営アパート）への入居を待っている人達です。

仮設住宅には自治会があります。私達派遣職員は会員ではありませんが、催しには参加します。毎月1回日曜日に環境整備があります。朝6時からなので、夜更かし朝寝坊の私は、参加したことがありません。

派遣職員も2カ月に1回ぐらいの割合で、集会室を借りて交流会をします。会費は1,500円です。自治会主催では、いも煮会や新年会をします。被災者の方達と交流できる良い機会です。しかし、家族を亡くされた方達もいて、被災者の方の悲しみや心境は、私には分かることはできません。

交流会では、被災者の方達も自由に話しをしてくれます。「俺は女房から、公営仮設住宅は狭いでしょう。私とポチは公営住宅に入るから、あなたは先に地福寺（のお墓）に行って、私達を待っていてね」と言われたと言う人（私も身につまされます）。仮設住宅では、独身の女性の方や連れ合いを亡くされた方がいます。また、派遣職員の中には、独身者もいます。この前の新年会では、大いに盛り上がり、合コンをしようかという話しになりました（不謹慎な）。モ、もしかして私の所にも合コンの案内状が来たら、出るべきかどうか今からドキドキしています。

【階上中学校の仮設住宅 私にとっては5つ星です。しかし、冬の夜中の底冷えはやっぱり仮設です】

